

# Salon

Vol.135 2021年11月 冬号



ホール4F壁画 ポール・ギアマン作「花とオルレアン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 今井信子
- 03 Phoenix Presents — ワルター・アウアー(Fl)&アンネレーン・レナエルツ(Hrp)  
岡城千歳 プレイズ 坂本龍一 ピアノ・ワークス
- 05 Pick Up  
アンヌ・ケフェレック ピアノリサイタル
- 07 Essay de say — 絵画から聴く音楽 筒井はる香

# 音楽アドバイザーとしての10年を総括 今井信子さん



©Marco Borggreve

現代を代表する名ヴィオリニストとして、世界中の檜舞台で活躍を続ける一方、後進の育成に力を注ぎ、多くの先鋭的な企画を通じて、ヴィオラという楽器のイメージ自体に革命をもたらした今井信子。1992年から東京でヴィオラを主役としたシリーズ「ヴィオラスペース」を立ち上げ、2005年からは、ザ・フェニックスホールでも毎年、大阪公演を開催。2011年からは、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールの音楽アドバイザーに就任し、ヴィオラを軸に据えた多彩な企画を通じて、様々な側面から音楽の魅力を掘り下げてきた。そして今、10年と言う節目を機に、アドバイザーとしての立場に、ひと区切りを付けることに。ロシア出身の作曲家でピアニスト、レーラ・アウエルバッハとの12月のステージで、自身の企画シリーズを締め括る。「自分で弾いていて、いまだに新たな発見をする毎日。色々な音が出るヴィオラだからこそ、その表現力の可能性は、まだまだある」と今井。気鋭の女性アーティストとのコラボレートから、未知なる響きの宇宙を創出する。

(取材・文:寺西肇/音楽ジャーナリスト)

## 今井信子(いまい・のぶこ/ヴィオラ)

桐朋学園大学卒業。イエール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル定期や小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとのガルツブルク音楽祭出演など、世界の桧舞台で活躍を続けている。室内楽にも積極的に取り組んでおり、フェルメール、ミケランジェロ両弦楽四重奏団のメンバーを務めたほか、五嶋みどり、マルタ・アルゲリッチ、アンドラーシュ・シフ、ギドン・クレーメル、ミッシャ・マイスキーラと共に演奏している。日本ではカザルスホールの音楽アドバイザーを務めたほか、<カザルスホール・アンサンブル>、<ヴィオラスペース>などの企画・演奏、また数々のヴィオラ作品の世界初演を行うなど、ヴィオラ界をリードする存在として、めざましい活躍を続けている。あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールでは2021年3月まで音楽アドバイザーを務めた。フィリップス、BIS、グラモフォン等から40以上のCDをリリース。著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)がある。これまでにエイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。

## 今井信子×レーラ・アウエルバッハ ～ヴィオラとピアノのための24の前奏曲～

2021年12月5日(日)15:00開演 指定席  
一般4,000円 友の会会員3,600円  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

■共演 今井信子(ヴィオラ)、レーラ・アウエルバッハ(ピアノ)  
■曲目 プロコフィエフ:ピアノソナタ 第2番 二短調 op.14  
ショスタコーヴィチ:ヴィオラとピアノのための即興曲 op.33  
プロコフィエフ(ボリソフスキイ編):  
バレエ音楽「ロメオとジュリエット」より  
アウエルバッハ:  
ヴィオラとピアノのための24の前奏曲「さすらい人」(2018)

■チケットのお求め、お問い合わせ  
ザ・フェニックスホールチケットセンター  
06-6363-7999(平日10時~17時、土日祝休)

# 「どう個性を創るか」を次世代へ

ザ・フェニックスホールの音楽アドバイザーとして、これまで手掛けられた24の企画は、ヴィオラを軸としつつ、実に多層的かつ多角的に「音楽」を捉えてきましたね。

追究したのは、自分のしたいことを、若い人たちと共にやってゆくこと。ほぼ、やり尽くせたのでは…(笑)。ザ・フェニックスホールの皆さんには、私のわがままを受け容れ、時に色々と一緒に考えて下さって、本当に感謝しています。普通ならば、不可能だったでしょう。若手ながら既に十分にキャリアを重ねた、ドイツのアマリリス弦楽四重奏団と共演しての五重奏[2019年9月]は、特に楽しかったですね。普段フリーの人たちとやると、音が交わるまでに時間がかかる、なかなか“室内樂の音”にならないので…。また、ヴィオラで弾くシューベルトの《冬の旅》[2011年2月]など、とても冒險的な企画なのに、気持ちよく受け入れて下さいました。

あの公演は、「音楽」と「言葉」の関係性を掘り下げる、特に含蓄ある内容でした。

言葉があると解り易いけれど、言葉がなければ、もっと色々なことが表現できるのでは、とも…。もちろん、最初は歌詞を勉強します。でも、いざ聞くとなれば、ハーモニーなどが先に来て、結局、自分の感性に頼るしかない。そこから音楽の深みが生まれるんだと思います。こないだも《詩人の恋》を弾きましたが、歌はうたえなくても…来世があつたら、ぜひ歌いたいですが(笑)…本当に「美しい」と感動しました。

そして、企画シリーズの締め括りを飾るのが、アウエルバッハさんとのステージですね。

彼女は素晴らしいピアニストで、作曲家です。実際にお目にかかる、自作に関するお話を伺うと、新しいものを求めるというより、むしろ基礎的で古いもの、私たちが育ってきたのと同じような音楽へ立ち返る感覚で取り組まれていて、とても共鳴しました。また、感情豊かな人物で、それが作品にも反映されています。近作に「ヴィオラとピアノのための24の前奏曲」があるというので、「ぜひ、共演して弾きたい」と考えました。24曲はそれぞれ、全く雰囲気が違い、実に多彩。とても立体的で、けっこう

トランスペアレント(透明感がある)です。だから、1音1音が凄く大事。ヴィオラのための、45分にも及ぶ大作はなかなか無いので、とにかく楽しみですね。

そして、少しリラックスしていただこうと(笑)、ショスタコーヴィチやプロコフィエフなどの親しみ易い作品を織り交ぜます。彼女のピアノは、とても自由でロマンティック。「ショスタコーヴィチなんて、一体どういう風に弾くんだろう」とか…優れたピアニストとなれば、これらの作品がいつそう面白く演れると思うので、私自身も興味津々ですね。

## コロナ禍の中、ご自身の生活は変わりましたか。

昨年3月にマドリードに教えに行き、生徒たちと練習をしていたら、スペイン政府から突然、「明日から全ての学校を閉鎖せよ」との通達が…。バタバタしたと思ったら、あつという間に人がいなくなつて、私も逃げるようにジュネーヴの自宅へ戻りました。1月にいた中国からも、感染の拡大で、慌てて戻ったばかり。でも、4月には、また山ほど仕事の予定が入っていて、次のことを考えている余裕がなかつたという中…全てが止まりました。

そして、全く違う生活が始まったんです。それまで40年間、出先から戻るとスーツケースの中身を空けて、すぐに詰め替えて出てゆくという状態で、家族とゆっくり過ごす時間は、ほぼ無かった。ところが、それこそ、おさんどん(台所仕事)から始まって、洗濯物の山を片づけて、孫と一緒に遊んで…ヴィオラのことすら考えない、夢のような時間を何ヵ月か過ごして、精神的にも、肉体的にも、リフレッシュできました。

でも、暫くすると、どういうことを教えるべきか、残すべきか…様々なことを考え始めました。そして、娘に協力して貰い、生まれて初めてSNSを始めました。すると、物凄く反響があって…。それじゃあ、と、今度はヴィオラに興味のある15~22歳の人を対象に「アペタイザー(appetizer='前菜'の意)・セッション」というのを始めて、「何を知りたいか、自分でビデオを5分ほど撮って送って下さい」と呼び掛けました。すると、僅か2日で70通ほど、世界中の至る所から返事が来て…1人あたり約15分ずつ、教えたんです。すると皆、とても喜んでくれて…こういう形で、世界の人と通じ合えたのは収穫でした。半面、オンラインだと「本当に大事なことは、伝

わらないな」とも…。やっぱり、“音の在り方”が掴み辛いんですよ。

## 芸術家としてのご心境に、変化は?

こんな状況に置かれると、新しい曲を発掘するとか、しまい込んでいた楽譜の整理とか、始める訳ですよ(笑)。すると「こんな曲があった」とか、手付かずの本が出てきて「もし全部読んだら、役立つだろうな」とか(笑)…全てが貴い時間でした。でも、様々な方向性が出てこようとも、私は結局、自分の好きな曲へと帰つてゆく。そして、弾いてみると、「こうだ」と思い込んでいたのが、「案外と違う」と新たな発見がある。曲の構造や、解釈に関して「確固たるもののが自分の中に無ければならない」と改めて確信しました。

ならば、それを生徒に伝えるには、どうすればいいのか。私がいくら自分の考えを述べようとも、それは彼ら自身の考えではない。彼らにも、私自身の中でも、もっと心を触発されるような、影響し合える教え方があるんじゃないかな、と…。かたや、難しい技巧はたくさんあるものの、やっぱり基本へ戻ることが、凄く大事だなとも感じました。

## 今後、目指すところは?

かつてレオポルド・アウラー\*というヴァイオリニンの名教師がいて、門下からハイフェッツやミルシテイン、ジンバリスト、エルマンらを輩出しました。あのロシアのクラスって、どう教えていたのか、凄く興味があります。だって皆、素晴らしい名手に育つたけど、個性が全く違う。もちろん、基本はきっちり押された上で、結果的に、色々な要素を持ち併せた各々の奏者が「どういう風に、音楽を創るか」と考えるべきなんです。そんな面白い人材を育てるべきや、と思います。特にヴィオラは、色んな音が出せる楽器だけに、皆同じ音や解釈で弾いても詰まらない。どうやって、そんな教育法を創つてゆくか。そして、次のジェネレーションへ伝えてゆくのか。それを確立するのが、私の夢ですね。

\*Leopold Auer(1845~1930) ハンガリー出身。19世紀最大のヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒムに師事。1868年からロシアのペテルブルク音楽院で教鞭を執り、演奏史に名を残す、数多くの名手を輩出。後半生はアメリカに移り、カーティス音楽院などで指導した。



**ザ・フェニックスホール  
友の会優先予約  
11月19日(金)  
10:00 受付開始**

**イ・フェニックス  
E-PHX優先予約  
11月22日(月)  
10:00 受付開始**

**一般発売  
11月24日(水)  
10:00**

インターネット予約による  
お申込みは11月25日(木)10:00から!

## ■注目アーティストシリーズ79

**2022年  
3月12日(土)**

15:00開演 指定席  
一般¥4,500(友の会会員¥4,050)  
学生(25歳以下)¥1,500(限定数)

**フルート&ハープ。ウィーン・フィル首席奏者たちによる天上の調べ。  
ワルター・アウアー(Fl) & アンネレーン・レナエルツ(Hrp)**

出演 ワルター・アウアー(フルート)、アンネレーン・レナエルツ(ハープ)  
曲目 J.S.バッハ:フルートソナタ ト短調 BWV1020 シューマン:幻想曲集 op.73  
フォーレ:ファンタジー op.27 一柳慧:忘れえぬ記憶の中に  
ニーノ・ロータ:フルートとハープのためのソナタ ほか(予定)

オーケストラの最高峰、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者として活躍する2人によるデュオ・リサイタル。フルートとハープの組み合わせは独特で、柔らかくどこか幻想的な音の響きが魅力です。今回のプログラムはバロックからロマン派、そして現代の音楽まで幅広いラインナップとなっており、素朴で響きの美しい楽曲から、超絶技巧を駆使する複雑な楽曲まで、フルートとハープの魅力を存分に堪能頂けると思います。また映画音楽で有名なニーノ・ロータが作曲した「フルートとハープのためのソナタ」は、非常に美しいメロディに、どことなく郷愁を感じさせるハープの響きが素敵で、映画のワンシーンを想起させられるような曲です。お楽しみに。



ワルター・アウアー(Walter AUER／フルート)

ワルター・アウアーは世界中から引く手数多なソリストであり、2003年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、  
ウィーン国立歌劇場の首席フルート奏者を務めている。ミュンヘン国際コンクール(ARD)をはじめ、クレモナ、ボンなどの多数の国際コンクールで入賞。それ以来様々な国際的なコンサートシーンで活躍している。ウィーン国立音楽大学教授。

アンネレーン・レナエルツ(Anneleen LENAERTS／ハープ)

ベルギー人ハープ奏者アンネレーン・レナエルツはハープ界で卓越したソリストの一人であり、2010年10月よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務める。世界で最も名声のあるリリー・ラスキース国際ハープコンクールでグランプリを受賞。ミュンヘン国際コンクールで入賞、聴衆賞を受賞。最新CD “Harp Concertos”は、作曲家ホアキン・ロドリゴ、レインゴリト・グリエール、ヨーゼフ・ヨンゲンの20世紀のハープ協奏曲が収録されワーナー・クラシックより出ている。

## ホール主催・共催・協賛公演チケットのお申込み方法

**06-6363-7999**

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

### ■ザ・フェニックスホール友の会優先予約

- ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
- ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時に電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

### ■E-PHX(イー・フェニックス)優先予約

- ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
- ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話でのご登録はできません。

### ■一般発売

- ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

**https://phoenixhall.jp/**

チケットセンターのページからお申込みください

### ■インターネット予約(主催公演のみ)

- ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
- ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれなりますがお電話でお問合せください。
- ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもあります。どうぞ了承ください。
- ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
- ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

**チケットセンター  
来店窓口臨時休業中**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きビル8階のチケットセンター来店窓口を臨時休業いたしております。

お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞ了承くださいますようお願い申し上げます。

## チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいたから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

**振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール**

## ■注目アーティストシリーズ80

2022年  
4月21日(木)

19:00開演 指定席  
一般¥3,500(友の会会員¥3,150)  
学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

## 世界のSAKAMOTO、不变と革新 岡城千歳 プレイズ 坂本龍一 ピアノ・ワークス

出演 岡城千歳(ピアノ)

曲目 坂本龍一:Merry Christmas Mr. Lawrence	The Sheltering Sky
The Last Emperor	High Heels
M.A.Y. in the Backyard	Energy flow
Piano Suite (1970)	ほか(予定)

本公司は、アカデミー作曲賞をはじめ、数々の賞を受賞し、世界で活躍する日本を代表する作曲家、坂本龍一さんの作品で全てが構成されたピアノ・リサイタルです。演奏するのは、NYを拠点に活躍する岡城千歳さん。岡城さんは2021年スクリャービンの交響曲第5番「プロメテウス、火の詩」を自身の手で7台のピアノ版に編曲し、話題となりました。また、坂本さんの作品集もこれまでに4枚発表しており、独自の探求を続けています。選曲も素晴らしい「ラストエンペラー」「戦場のメリークリスマス」といった映画音楽、CMに起用され大ヒットした「エナジー・フロウ」などまさに名曲揃い。さらには「ピアノ組曲」「僕自身のために」等滅多に演奏されないファン垂涎の初期作品まで、坂本さんのキャリアを網羅し俯瞰するプログラムとなっています。是非、お楽しみください。



### 岡城千歳(おかしろ・ちとせ／ピアノ)

桐朋学園大学を経てジュリアード音楽院にて修士号を取得。カーネギーホールでニューヨーク・デビュー後、ソロ、室内楽、協奏曲の演奏で、リンカーンセンター・サマーフェスティバルの他、アメリカの主要都市、カナダ、さらにヨーロッパではダヴィッド・オイストラフ・フェスティバルに出演の他、各地で演奏。ピアニストとしてだけでなく、アーティスティック・ディレクター、レコーディング・プロデューサーとしても活躍。さらにブージー&ホークス出版社でジョン・アダムズなど米作曲家から依頼される編曲家としても活動。CD作品として「坂本龍一：ピアノ・ワークス・シリーズ1～4」「チャイコフスキイ：悲愴交響曲ピアノソロ編曲」「マーラー：巨人交響曲ピアノソロ編曲」「ワーグナー：超絶技巧ピアノ編曲集」など、世界中で高い評価を獲得、数多くの賞を受賞。最新作の「スクリャービン：プロメテウス、火の詩 7台ピアノ版」は絶賛され、大きな話題を呼んでいる。

## ■共同主催

主催 パシフィック・コンサート・マネジメント／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

2022年  
4月1日(金)

19:00開演 指定席  
一般¥6,000(友の会会員¥5,400)  
\*学生券の取り扱いはありません。

## パリのエスプリ、ここにあり。 現代最高峰のフレンチ・ピアニズムの妙手が紡ぐ、フランス音楽の至宝。 アンヌ・ケフェレック ピアノリサイタル

出演 アンヌ・ケフェレック(ピアノ)

曲目 ショパン:ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作	ショパン:幻想即興曲 嬉ハ短調 op.66
リスト:『巡礼の年 第3年』より『エステ莊の噴水』	ラヴェル:『鏡』より『海原の小舟』
サティ:ジムノペディ 第1番	ドビュッシー:『ペルガマスク組曲』より『月の光』 ほか(予定)

パリの息吹を現代に吹き込む名ピアニストによる待望のリサイタルが実現！ラ・フォル・ジュルネ音楽祭でもお馴染みのアンヌ・ケフェレックは、気品に溢れた凛々しい演奏で聴衆の心を震わせ、軽やかで自由なタッチでそれぞれの作品を描きます。パリ音楽院を経てウィーンでブレンデル、スコダ、デームスという往年の巨匠に師事したケフェレックは、ミュンヘン国際コンクールで優勝＆リーズ国際コンクールで入賞し注目を集め、世界の檜舞台で活躍を続ける巨匠ピアニストです。映画『アマデウス』でピアノ協奏曲を弾いたのも記憶に新しく、膨大な数の録音を残しています。今回演奏するプログラムは、パリを拠点としたショパン＆リスト作品を前半に置き、後半は「サティと仲間たち」と題し、サティと同時代にフランスで活躍した近現代の作曲家によるピアノ小品をお送りします。フランス音楽の洒脱なエスプリ、フレンチ・ピアニズムの神髄をお楽しみください。



### アンヌ・ケフェレック (Anne QUEFFÈLEC／ピアノ)

パリ生まれ。パリ国立高等音楽院を首席で卒業後、ウィーンでパウル・バドゥラ＝スコダ、イエルク・デームス、アルフレッド・ブレンデルに師事。1968年ミュンヘン国際音楽コンクールで満場一致で優勝を果たし、翌年リーズ国際ピアノ・コンクールでも入賞。一躍ヨーロッパで大きな注目を集め、世界各地で演奏活動を開始させた。1990年、ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ムジークの年間最優秀演奏家賞を受賞。フランス各地での主要音楽祭やBBCプロムス、日本では「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭に度々登場し高い人気を誇る。エラート、ヴァージン・クラシックス、ミラーレから40枚以上の録音をリリースし、多岐に亘るレパートリーの録音を残している。ミラーレからの『サティと仲間たち』がディアパゾン・ドール賞を受賞。2017年には『ダンスに加わって』をリリースし、高評を得る。また、映画『アマデウス』ではサー・ネヴィル・マリナーとの共演でピアノ協奏曲を演奏し、話題を呼んだ。

©Caroline Doutre



## 大阪ギターサマー無料動画配信のご案内

2年連続で中止となってしまったOsaka Guitar Summerですが、少しでも多くの人にクラシックギターの魅力を伝えたいと考えOsaka Guitar Summerの紹介動画を作成しました。福田進一さんによる映画「マチネの終わりに」の主題曲をはじめ、ギター四重奏による「展覧会の絵」、そしてアンサンブルワークショップ参加者による「ツインガレスカ序曲」の世界初演など、今年演奏する予定だった曲を中心にお届けします。完成した動画はYouTubeで“無料”配信いたします。是非ご覧ください。





▶動画公開予定日  
2021年  
**11月25日(木)**

**動画視聴方法** YouTube【あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール】で検索

**出演** 福田進一、岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美、アンサンブルワークショップ受講生(以上ギター)

**曲目** 菅野祐悟:幸福の硬貨  
ムソルグスキー(岩崎慎一編):組曲「展覧会の絵」ヴィラ=ロボス:ガヴオット・ショーロ  
西森久恭:ツインガレスカ序曲 他(予定)

### あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。  
当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛  
公演

### 大島亮 ヴィオラリサイタル Vol.8 “花鳥風月”

2022年2月7日(月) 19:00開演 指定席 一般¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生¥2,000

11/15(月)  
発売

主催 テレビマンユニオン



出演 大島亮(ヴィオラ)、草冬香(ピアノ)

曲目 武満徹:鳥が道に降りてきた  
林光:蔓枝  
信長貴富:委嘱新作初演  
矢代秋雄:ヴィオラソナタ ほか

2020年11月に「ヒンデミット ヴィオラソナタ全曲演奏会」を開催し、好評を博した大島亮が再登場! 今回は「邦人作曲家」をテーマに、武満徹や林光、矢代秋雄ら作曲家それぞれの個性溢れるヴィオラ作品を集めました。また、初演となる信長貴富の委嘱新作も聴きどころ。ヴィオラという楽器が持つ大きな可能性の広がりを、ぜひお楽しみください!

協賛  
公演

### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～ 山崎智子のシューマン&ブラームス

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2022年2月8日(火) 19:00開演 指定席 一般¥5,000(友の会会員¥4,500)  
3/15「京響メンバーの室内楽」とのセット券¥9,500(友の会会員¥8,500) ※友の会割引・セット券は前売のみ限定数



出演 山崎智子(ヴィオラ)/ロータス・カルテット、シュトゥットガルト)、右近恭子(ピアノ)

曲目 シューマン:アダージョとアレグロ 変イ長調 op.70  
おとぎの絵本 op.113  
ブラームス:ヴィオラソナタ 第1番 へ短調 op.120-1  
ヴィオラソナタ 第2番 変ホ長調 op.120-2

日本で結成してドイツを拠点に活動を続けて創立30周年を迎える国際的弦楽四重奏団 ロータス・カルテットのヴァイオリニスト 山崎智子が名手・右近恭子を迎えて贈るシューマン&ブラームス。

協賛  
公演

### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”～関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽～ 京響メンバーの室内楽

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2022年3月15日(火) 19:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥4,900)  
2/8「山崎智子(ヴィオラ)」とのセット券¥9,500(友の会会員¥8,500) ※友の会割引・セット券は前売のみ限定数



出演 田村安祐美、中野志麻(以上ヴァイオリン)、小峰航一、丸山緑(以上ヴィオラ)、ドナルド・リッチャー(チェロ)

曲目 ベートーヴェン:弦楽五重奏曲 ハ長調 op.29  
ブラームス:弦楽五重奏曲 第1番 へ長調 op.88  
弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 op.111

京響のメンバーによる正に息の合った仲間による弦楽五重奏、ベートーヴェンとブラームスのタベをどうぞお聴きください。

**協賛  
公演** ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール  
**LEO(箏)×CLASSIC**

発売中

2022年1月16日(日) 14:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 LEO(箏)  
ゲスト:黒田鈴尊(尺八)曲目 八橋検校:みだれ  
沢井忠夫:上弦の曲  
J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番より  
吉松隆:すばるの七ツより  
藤倉大:竜  
冷水乃栄流:委嘱新作 ほか

箏(こと)に導かれた若き才能、LEOが奏でる伝統と革新。

主催 日本コロムビア株式会社



**協賛  
公演** ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール  
**細川千尋&口一磨秀 カプースチン&ガーシュワイン ゲスト:猪居亜美(ギター)**

発売中

2022年1月30日(日) 14:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 細川千尋、口一磨秀(以上ピアノ) 曲目 カプースチン:ディジー・ガレスピーの  
"マンテカ"によるバラフレーズ op.129  
シンフォニエッタ op.49  
ガーシュワイン:2つのプレリュード(ピアノ4手版)  
サマータイム  
ソングブックより

多彩な音色とリズム感抜群なピアニストが集結!



**協賛  
公演** ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール  
**長富彩ピアノ・リサイタル2022**

発売中

2022年2月5日(土) 14:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 長富彩(ピアノ) 曲目 サティ:ジュ・トゥ・ヴ  
フォーレ:シリエンヌ op.78  
ドビュッシー:喜びの島  
ラヴェル:クープランの墓  
亡き王女のためのパヴァーヌ  
水の戯れ、夜のガスパール

彩り豊かな音色と煌めく感性が奏でる音のスケッチブック。

主催 日本コロムビア株式会社



**協賛  
公演** ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール  
**アン・セット・シス**

発売中

2022年2月6日(日) 14:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 山中惇史、高橋優介(以上ピアノ) 曲目 山中惇史:Opening, Song for John  
映画『スターウォーズ』より「メインテーマ」「アナキンのテーマ」「ルークとレイア」  
映画『ハリー・ポッター』シリーズより「ヘドウイグのテーマ」「不死鳥フォーカス」「ダイアゴン横丁」「過去への橋」「ハリーの不思議な世界」  
映画『フック』より「ネバーランドへの飛行」  
映画『ジュラシックパーク』より「エンドクレジット」  
映画『シンドラーのリスト』より「テーマ」「アメリカンコレクションのテーマ」

山中惇史&amp;高橋優介による気鋭のデュオが挑むピアノデュオの世界!

主催 日本コロムビア株式会社



**協賛  
公演** ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール  
**猪居亜美(ギター) CLASSIC×ROCK**

発売中

2022年3月21日(月・祝) 14:00開演 指定席 一般¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 猪居亜美(ギター) 曲目 G.ロックバーグ:カプリス変奏曲より  
A.ヨーク:Sunburst  
Just How Funky Are You  
KISSメドレー  
Linkin Parkメドレー ほか

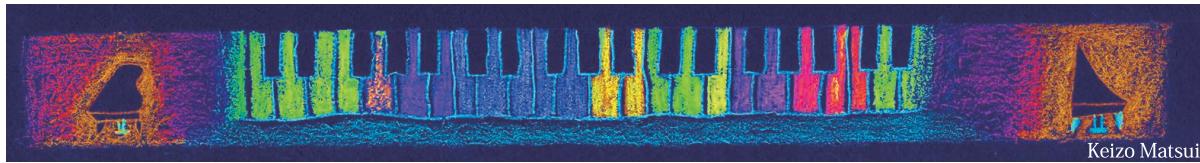
主催 日本コロムビア株式会社



関西出身の規格外ギタリスト!クラシックギターでロックに挑む!

# 絵画から聴く音楽

— 筒井はる香 —



ピアノがモチーフとして描かれている絵画作品が古今東西にある。ピエール＝オーギュスト・ルノワールの「ピアノに向かうイヴォンヌとクリスティーヌ・ルロル」(1897年)や中村大三郎の「ピアノ」(1926年)などはその有名な例であろう。

絵画作品から私たちは、当時の社会や文化などいろいろな情報を読み取ろうとする。前者のルノワールの作品では、二人の若い姉妹がくつろいだ雰囲気で音楽を楽しんでいるようだ。中村大三郎の作品では、華やかな紅色の振袖姿を身にまとった女性がピアノを演奏している。彼女たちの洗練された衣装や優雅な表情、背景にある品のよい調度品から伺えるのは、こうしたブルジョワ家庭の子女たちこそ、ピアノを嗜むことができたという当時の音楽文化であろう。

対象物を正確に描いた作品では楽器の種類を特定することが可能な場合もある。中村大三郎の上記の作品はその点において驚くほど精緻に描かれている。楽器の蓋には製作者の名前「ANT. PETROF」が記されており、この楽器がボヘミア(現在のチェコ)のペトロフ社のものであることが分かる。譜面台に立てかけられている楽譜の音符も一音一音記譜され、判読可能な状態となっており、それがシューマンの《子どものためのアルバム》op.68の19曲目「小さなロマンス」と《子どもの情景》op.15の7曲目「トロイメライ」であると特定することができる。

一方で、絵画から読み取ることが難しい情報もある。描かれたピアノはどんな音色や響きがしていたのか、といった音に関する問題である。もちろん、絵画の色彩やタッチからそれらを想像することはできるし、正確に読み取れないことがかえって私たちの想像力を掻き立てる効果があるのだが。最近、筆者は19世紀後半から20世紀前半に活躍したイギリスの画家ジョージ・グッドウィン・キルバーン George Goodwin Kilburne (1839-1924) の「music room」(制作年不明)に描かれているものと同型のピアノを

調査する機会があった。そこに描かれているのは、ロンドンで作られた長方形のピアノである。

このピアノは英語圏ではスクエア・ピアノと呼ばれる。1760年代ロンドンで製作が始まり、18~19世紀を通してヨーロッパでポピュラーな鍵盤楽器として愛好された。木目が美しいケースには、唐草模様などを模った透かし彫や、金属属性の装飾が施されており、楽器としてだけでなく調度品としても私たちを魅了する。演奏する時に、2本の棒で支えて本体上部の蓋を全開するか、蓋は閉じたままにするか、あるいは蓋を開じた状態で前面右側にある小窓のような蓋だけを開けるかによって響き方が微妙に変化する。調査した楽器には第二響板が張られていた形跡がある。おそらく蓋を全開して演奏する時に響きを和らげたり、埃を避けるために使用されていたのだろう。弦を打つハンマーは現代のものより小さく、またハンマー・ヘッドには革が使われている。それゆえ現代のフェルト製のハンマーをもつピアノよりも、タッチが軽く、発音が明瞭である。ペダルは1本のみ、ダンパー・リフティング・ペダルが楽器の左側についている。そのため左足でペダルを操作しなければならない。ペダルを使うと、ハープのような幻想的な音色へと一変する。実際に楽器を調査して気づいたことは、スクエア・ピアノは家庭的な温かみのある素朴な響きがする楽器であることである。一般的にイギリスのピアノは、同時代に他都市で作られたピアノに比べて、強音が豊かに響く楽器として知られる。しかし実際には、弱音もイメージ豊かに響き、可憐で、儂い音がする。

キルバーンの絵画のなかでは水色のドレスを着た女性がスクエア・ピアノを弾いている。私たちに語りかけるように。



George G. Kilburne 「music room」  
([https://en.wikipedia.org/wiki/George\\_Goodwin\\_Kilburne](https://en.wikipedia.org/wiki/George_Goodwin_Kilburne)より転載)

筒井はる香(つつい・はるか)／同志社女子大学学芸学部音楽学科准教授  
大阪大学大学院修了。博士(文学)。関西大学、神戸女学院大学、同志社女子大学非常勤講師、大阪大学招へい研究員を経て、現在、同志社女子大学学芸学部音楽学科准教授。専門は、西洋音楽史、鍵盤楽器史。主な研究対象は、フォルテピアノとその音楽。近年は、20世紀京都で活躍した女性作曲家、中瀬古和の生涯を追っている。著書に『フォルテピアノー19世紀前半ウインの製作家と音楽家たち』(2020年、アルテスパブリッシング)など。



発行年月 2021年11月  
発 行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
編 集 上田英司  
デザイン 松井桂三有限会社

